

河川女子現場レポート

《堤防徒歩巡視 -秋季-》

TEAM-YONESIRO
レポート/よねっし〜



みなさん、こんにちは！よねっし〜です。

米代川では毎年、出水が落ち着いた10月～11月に「堤防徒歩巡視」を実施しており、今回は【能代地区の落合～朴瀬】の点検に同行させて頂きました。

この日は約11kmを歩きます。運動不足のよねっし〜は、無事完走できるのでしょうか！？笑



事務所職員・出張所職員・
防災エキスパート・河川巡視員で実施



スタートは、落合 右岸 0.2k

(※0.2k = 日本海からの距離)



海と川の合流地点のため
海風が冷たいです・・・



堤防を歩いていると、
左のような建物を目にすることがあるかと思います。
●○この建物にはどのような役割があるの？○●



これは、「樋門」や「樋管」といいます。
普段は河川の水かさが低いため、小さな川や水路の水は、米代川へ流れます。しかし、大雨が降り河川の水位が高くなると、米代川の水が逆流し、住宅などに浸水被害が起こる可能性が・・・。樋門や樋管ではゲートを閉じたり・開けたりすることで、水の流れを調節し、逆流を防ぐ役割を果たします。

約11km、完走（完歩？）しました(^ ^)/

堤防や管理施設も、大きな問題等はなく点検は無事終了です。

今回の堤防徒歩巡視は、11月いっぱいまで続きます。雪の予報も出てきていますが、最後まで安全第一で！みなさんも散歩などで堤防に出かける際は、しっかり防寒対策してくださいね。